

「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050（改訂版）  
（仮称）（大綱）」に係る県民コメント実施結果の概要

○ 実施期間：平成26年12月16日（火）～平成27年1月15日（木）

○ 意見総数：34件（12人）

《内容》

第3章 目指すべき将来像

1件

（教育も含め地域コミュニティの再生も目標に掲げていいのではないかなど）

第5章 地球温暖化対策の進め方（計画期間後半における最重点施策）

4件

（「環境負荷の少ない住まい方・暮らし方の促進」に緑のカーテンを盛り込むべき など）

第6章 温暖化対策の7つのナビゲーション

21件

I 低炭素型で活力ある産業社会づくり

3件

（業種別の省エネ対策の指導体制を組織し業種別の省エネ施策を指導すること など）

II 低炭素型ビジネススタイルへの転換

1件

（低炭素なまちづくりのためには既存の戸建て住宅の省エネルギーフォームが必要）

III 低炭素型ライフスタイルへの転換

2件

（環境家計簿の重要性を県民に講演会・講習会等で教育したらどうか など）

IV 低炭素で地球にやさしいエネルギー社会への転換

1件

（小水力発電の普及・拡大など河川を活かした案はないかなど）

V 低炭素で潤いのある田園都市づくり

1件

（住居の集約化等を行い行政の合理化とインフラ等の効率化を図りエコにすべき）

VII 低炭素社会への環境教育の推進

13件

（地域でごみの減量の活動などを行っているNPOなどの市民団体と連携すべき など）

第8章 地球温暖化への適応策

1件

（防災拠点の整備などを速やかに推進してほしい）

第9章 施策の推進に当たって

2件

（不動産事業者の役割として住宅の長期使用を積極的に行うよう勧める文言が必要 など）

その他

5件

（地球温暖化対策実行計画の存在等の県民・事業者への周知について改善の余地あり など）